

保護者・生徒用

愛ことば

～安倉中愛 友よ～

宝塚市立安倉中学校
校長だより
2024(令和6)年
12月9日(月)
第20号
♪世界中の誰よりきっと
優しい気持ちになる。

宝塚一、笑顔あふれる学校に。日本一、ワクワクする学校に。～生徒会選挙立会演説会～

先週の選挙活動の活気は、安倉中の伝統を受け継ぎ、これまで以上により一層輝きを増す学校としていこうとするバトンタッチの息吹を感じるものでした。

そして、5日(木)の立会演説会は、選挙管理委員長からの立候補者への言葉として「これまで準備してきたことを出し切ってください。応援しています。」
というはじめのあいさつに象徴されるように全校生で頑張っている人たちを盛り上げようとする雰囲気伝わってくる温かいものでした。

今回は、2年生も1年生も定員と立候補者が同数の信任投票でした。選挙での投票は、自分自身の意見なので「○」をつける、つけないは、自由なのですが、ただ単に空欄にしておまうとするのではなく、自分たちの代表としてこれから頑張ってくれようとする安倉中の仲間のことを思って応援しようとする心が伝わってくるところにも、温かいものを感じずにはおれませんでした。

今回は当日の立候補者の気持ちが伝わる言葉の一部ですが紹介します。

- ☆ 宝塚一、イメージのいい学校に。皆が夢や目標に向かえるように。先生たちが気付かなかったことや新しくやってほしいことを言える意見箱を設置します。相談箱で悩みある人の相談に乗ったりアドバイスをします。
- ☆ 一人一人がより楽しく、より生き生きとする学校とするために、1.ベル着や掃除に全員がしっかりと取り組むようにします。2.行事に執行部が積極的に関わっていきます。皆が団結して楽しい学校に。スポーツフェスティバルでは、生徒会種目を入れます。
- ☆ 皆さんにとって過ごしやすく楽しく笑顔があふれる学校に。そのためにコロナで短縮した行事を復活させてみんなが楽しめるようにします。意見箱を作ります。
- ☆ 日本一、教師・生徒・保護者がワクワクする学校にします。もっとこうなったらいいいのにな、という意見にタブレットなどで耳を傾け一人一人に寄り添っていきます。みんなの声を聞く仕組みづくりをして意見を聞きやすくします。

- ☆ 学校に行きたくない生徒を減らします。今より明るい学校へしていきます。学校に来られない人の様々な理由を聞いて改善していきます。よりたくさんの意見を聞くためアンケートをすることや日常の会話でも意見を聞いていく。宝塚一、元気で明るい学校に、笑顔あふれる学校にしていきます。
- ☆ 皆さんは学校が楽しいですか。私は楽しいです。大きな声であいさつをしていってみんなの笑顔が広がり、学校が楽しいと思えるようにします。私の明るい性格を生かしてみんなが楽しく過ごせるような新しいイベントを行っていきます。
- ☆ 1.気軽に意見を言える環境を作ります。そしてすぐに対処します。そのために各階に意見箱を設置することと、学期に1回タブレットでアンケートを取って意見を聞きます。2.行事に全力で楽しむのはとてもいいのですが、行事の練習に引っ張られ授業に集中できないこともあったので、行事を全力で取り組み、授業にも真剣に取り組むようにします。
- ☆ 毎日笑顔で通学できる学校にしていきます。そのために行事の活性化を進めます。皆が平等に楽しめる新しいプログラムを実施します。アンケートを実施して皆さんの要求や疑問に耳を傾けます。
- ☆ いじりやいじめをなくしてルールを守れる学校に。そのためには校則を見直します。今の校則も守れていない現状があるので、しっかりと守って誰からも応援される学校にします。いじりやいじめに気づいていない人もいるのでいじりやいじめのない学校にします。
- ☆ あいさつを活性化させます。あいさつ運動の声にあいさつを返さない人もいます。みんなが毎日気持ちよく学校で過ごせる学校に。いじめのない学校に。不登校の生徒が来やすくなるような学校に。
- ☆ 1.みんなが楽しいと思うイベントを行います。いい思い出を作れるようにします。2.いじめのない平和な学校にします。これまで嫌な思いをしている人に心から寄り添っていくことを誓います。皆さんの声を聞きます。

翌6日（金）の結果発表では、11 人全員が信任されました。どの言葉も安倉中学校のことをしっかりと考えた素晴らしいものでした。生徒の皆さんの言葉ではありますが、本来は、我々安倉中学校に関わる大人たちが皆さんに向けて伝えていかないといけない言葉でもあると感じています。

これらの言葉を大切に安倉中生の皆さんも我々安倉中に関わる全ての大人も同じ方向を見つめてこれからも安倉中学校が皆にとって居心地のいい学校となるように取り組んでいきましょう。